

平成29年度秋季特別展

三代目尾上菊五郎 改メ、 植木屋松五郎!?

—千両役者は盆栽狂

役者をやめて植木屋にならるるという噂ゆゑ、惜しいことじゃと…
(ある女性談)

歌川国貞「見立絵兄弟 玄徳風雪訪孔明」天保10年(1839)頃、個人蔵(部分) 前期展示

平成29年
2017

10月7日(土)～11月29日(水)

【前期】10月7日(土)～10月31日(火) / 【後期】11月3日(金祝)～11月29日(水)

【休館日】木曜日(11月23日をのぞく) ※11月1日(水)は展示替えのため本展示室のみ閉室

【会場】さいたま市大宮盆栽美術館 企画展示室

【主催】さいたま市大宮盆栽美術館

【後援】NHKさいたま放送局、埼玉新聞社、JR 東日本大宮支社、テレ玉



さいたま市

大宮盆栽美術館

“さて尾上菊五郎のよいよ一世代を仕り、これより寺嶋へ引き籠りまして、松の隠居、親どもの名をつぎまして松緑と改名仕り、四季折々の草花もご覧に入れたてまつりたく”

終生のライバル・七代目市川團十郎による、尾上菊五郎一世一代口上

江戸時代後期の人気歌舞伎役者・三代目尾上菊五郎「天明四年（嘉永二年（一七八四）〜一八四九）」には、実は大の「盆栽好き」としての横顔がありました。浮世絵版画の役者絵には、鉢植えを座右に飾る三代目の姿がよく見られます。ところが、三代目の盆栽好きは趣味の域には留まらず、ついには向島の寺島村*に、植木屋「松の隠居」を名乗りはじめます。三代目は、なんと植木屋稼業の役者でもあったのです。

展示構成

- 1 謎の植木屋「菊屋」をさぐる〜浮世絵師の暗号
 - 2 魅惑の江戸園芸〜植木好きの温泉
 - 3 人気役者勢揃い〜植木屋で登場
 - 4 三代目の正体〜千両役者は盆栽狂
- エピソード〜好敵手・七代目市川團十郎の「松切り」



歌川国芳「見立細工役者八景 音羽屋晩鐘」文政〜天保13年(1818〜1842)頃、個人蔵(後期展示)



歌川国貞「きくのさかゑ」弘化4年〜嘉永5年(1847〜1852)頃、個人蔵(前期展示)



歌川国貞「梅幸住居雪の景」文政6年(1823)、個人蔵(前期展示)



歌川国貞「見立絵兄弟 玄徳風雪訪孔明」天保10年(1839)頃、個人蔵(前期展示)



尾上梅幸、歌川国貞「繪絵双白浪」文政11年(1828)、早稲田大学図書館蔵(後期展示)

特別展講座「役者としての三代目尾上菊五郎」

- 日時 11月3日(金祝) 13時30分〜15時
- 講師 渡邊晃(太田記念美術館主幹学芸員)
- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
- 定員 30人

参加方法(共通)

自由参加、各日13時より先着順、参加費無料(展示会の鑑賞は、別途観覧券が必要です)

特別展ギャラリートーク

- 日時 10月21日(土)、11月5日(日)、11月18日(土) 全日程とも13時30分〜

スライドトーク

担当学芸員がスライドを用いて展示会を詳しく紹介します。

- 日時 10月9日(月祝) 13時30分〜15時
- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
- 定員 30人

- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館 ※当日有効の観覧券をお持ちの上、当館ロビーにお集まりください。



さいたま市

大宮盆栽美術館

http://www.bonsai-art-museum.jp

〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3

TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323

https://facebook.com/OmiyaBonsaiArtMuseum



電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン「大宮公園駅」下車 徒歩10分
首都高速埼玉新都市心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km
駐車場：一般車39台(2時間まで無料)
大型車3台(860円)、障害者用2台(無料)

このチラシは30,000部作成し、1部当たりの印刷経費は6円です。